

「子供の森」計画

in スリランカ



2012年の活動と2013年の展望

子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。伐採や山火事などで森林の減少が問題となっているスリランカでは、子どもたちに、森を守ることの大切さを教えるとともに地域住民への環境教育にも力を入れています。また干ばつなどによる水不足の問題も深刻で、木を植えても継続的に水やりなどの管理をしないと成長しません。それには子どもたちの努力も必要ですが、その子どもたちを見守り育てていく学校の協力が不可欠です。そこでスリランカでは、複数の学校から校長先生たちを集め、「子供の森」計画の目的や子どもた

ち・地域社会への効果を説明したり、子どもたちの指導方法を紹介したりするセミナーを開催しています。セミナーはとても好評で「子供の森」計画に対する理解が深まっているだけでなく、学校全体で積極的に活動を推進する学校もみられるようになりました。これからもこのような、協力体制の強化にも力を入れながら、子どもたちが充実した活動ができるよう取り組んでいきます。

2012年植林実績：植林 1,907 本・面積 1.53 ha
「子供の森」計画参加学校数：293 校（1992年からの累計値）

2012年までの植林実績



スリランカ

- ◆人口：20.541百万人
(2012年IMF推計値 日本は127.896百万人)
- ◆面積：65,610km²
(総務省統計局資料2010年値 日本は377,950km²)
- ◆一人当たりGDP：2,879.743US\$
(2012年10月IMF試算値 日本は45,869.72US\$)
- ◆森林率：29%
(2010年FAO公表値 日本は69%)

スリランカの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

ベルマークや書き損じはがきも募集しています。
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

「子供の森」計画情報提供サイト
www.kodomonono-mori.info



事務局



〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
☎(03)3322-5161 ☎(03)3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>



スリランカ

村づくりへとつながる「子供の森」計画

アンバガスウェワ学校がある村は田んぼや畑が広がる田舎です。しかしこの村にも近代化の波が押し寄せ、川が汚れ、村のいたるところにビニールゴミが散乱し、発展と環境保全のバランスが取れていない状況となっていました。2011年、アンバガスウェワ学校に新しく赴任した校長先生は、授業の時間を延長し、環境やスリランカの文化、村を愛することの大切さなどを教える時間をつくりました。そしてさらに良い学校とするために、2012年「子供の森」計画の仲間入りをしました。子どもたちが苗木を植える時には両親や兄弟も積極的に参加するよう呼びかけ、また村人たちを集めたセミナーも開きました。こうした取り組みは、村人たちが集い共に活動し、親交を深めるよい機会ともなっています。「ふるさと」を守り育てるために一人ひとりが村の環境保全活動に参加しよう、というオイスカの呼びかけに、

近代化による村の不調和を感じていた村の大人たちから強い賛同を得ました。森づくりと合わせ、村づくり、人づくりもこれからも進めていきたいと考えています。



「2014年まで責任を持って育てます」



「ふるさとづくり」と「森づくり」をテーマにしたセミナー



スリランカ

町の中の学校で自然を学ぶ

スリスマンガラ学校は町にある学校で、この地域の中でもレベルが高く入学することが難しい学校の一つです。この学校で「子供の森」計画を始めることとなったきっかけは、教育省の子供教育開発部長から5年生の特別授業でオイスカが取り組むの環境保全活動や「ふるさと」を守る活動の話をしてほしい、と要請があったことです。そして2012年、子どもたち約500名を対象に、スリランカの環境や自然保護について、また、これからの町づくりについてのワークショップを行いました。また町の子どもたちが普段触れる機会の少ない自然について勉強できるように、動植物や昔の農機具などの展示を使った勉強の時間も設

け、この地域に昔から生息していた植物の葉や実、花などや、現在の自然破壊についても紹介しました。子どもたちは、魚が泳いでいる川やきれいな花がたくさん咲いている山、鳥や動物がたくさんいる環境を将来に残すためには、私たちが何をすべきかを話し合いました。



自然からもらう多くの恵みについても勉強しました



ワークショップのために「子供の森」計画オリジナルのワークブックをプレゼントしました

TOPICS

子どもたちの絆を深めるゲーム

スリランカでは年に1～2回、複数の「子供の森」計画参加校から子どもたちを集めて、ワークショップを行います。学校も学年も違う子どもたちが集うため、はじめは緊張の空気に包まれているようですが、自己紹介や自然の中でのゲームなどを通じて少しずつ心を通わせていきます。そのゲームの一つがこれ。他のメンバーを信じて高いところから仲間の腕めがけてたおれこみます。このような活動を通じて心を通わせた子どもたちは一緒に植林をしたり環境問題について議論をしたりなど、つながりを深めていきます。



友達を受けとめようと真剣なまなざしの子どもたち



仲間を信じて思いきってたおれこむ